



青き楓

島高だより
平成30年12月号
(通巻第153号)
長崎県立島原高等学校
編集：研修広報部

校長室から

きれいにするということ

校長 渡邊 孝経

いよいよ1年が終わろうとしている。「大晦日の夜は寝てはならない」という風習がある。藤野紘氏の著書「日本人の美しい和のふるまい」によると、火は存続の象徴で、眠ることで火が絶えたら、その家の福が途絶えてしまい、家の存続が危なくなるという危惧から、夜更かしをして新しい年を迎えることが習慣になったそうである。

実は、私も毎年大晦日は寝ていない。10歳から剣道を始めたのだが、中学1年生からこの年まで一度も欠かさず剣道の「年越し稽古」を行っているからである。大晦日の夜10時頃から元旦の夜中1時頃まで稽古を行い、その後は初詣。家に帰るのは夜中の3時頃。これが大事な恒例行事となっており、紅白歌合戦は最後まで観たことがない。

新しい年を迎えるため、特に大晦日前は、どこの家も年中行事として大掃除をする。師匠でさえ走り回ることから、12月を「師走」と呼ぶのだが、「年末は忙しいから、正月になってから掃除をすればいい」と考える人もいるかもしれない。しかし、年が明けてからの掃除は避けるべきで、それは、年明け、中でも元旦は1年のスタートを切るおめでたい日で、この日は家の中に福の神がおり、その福の神を掃除をして外に追い出すのは愚かなことだと信じられているからだ、とも前述の著書の中で述べられている。そうは言っても私自身、教師になって、恥ずかしながら本気で大掃除をしたことがない。冬休み中は部活動の招待試合や遠征のため、自宅どころか島原にいたことがほとんどないからで、家族には申し訳なく思っている。

大掃除に限らず、毎日毎日「なぜ学校の掃除を行うのか？」

掃除は人間修行の重要な方法などという理由や理屈をよく聞くが、単純に「学校は昔からきれいなところと決まっている。」「だからきれいにする。」で良いのではないのか。そのような有無を言わないことが学校にはあっても良いと常々思っている。

ところで、大谷翔平選手の大リーグでの活躍は皆知るところだが、4月11日のレンジャーズ戦、8回表、大谷は四球を選んだ。一塁上で、ファールラインの内側に落ちていたゴミを拾った。このあとピックオフプレーでアウトになり大きく報じられたが、メジャーの大舞台上、グラウンドに落ちていた小さなゴミが目が留まり、さりげなく拾ったその行動を大谷選手の「心の成長」であると、「東洋経済ONLINE」のコラムの中で、スポーツライターの広尾晃氏は指摘した。実は、大谷選手は意識してグラウンドのゴミを拾っており、日本でプレーしていた時も拾っていた。彼自身はそれを「人が捨てた『運』を拾っている」と表現していた。「ゴミを拾う」のは小さな行為だが、大谷選手には自身の平常心を保ち、冷静にプレーするためのキーアクションになっている、とも広尾氏は述べている。

柔道の古賀稔彦氏は「自分の前のゴミをつかめない者は、自分の夢はつかめない」と言っている。また、「掃除をしたからといって、チームが急に強くなるわけではないが、神経が行き届いた準備のできるチームは確実に強い」とアメリカンフットボールの有名な指導者であるジョー・パテルノ氏も言っている。

「たかが掃除、されど掃除」ですね。

3年生進路検討会、1・2年生学力検討会

進路指導部主任
酒井 太一

11月から12月にかけて各学年とも検討会を実施しました。それぞれの学年において、学年全体および一人ひとりの学力・生活面の現状分析、今後の指導方針について話し合いました。各学年の内容の一部をお知らせします。

【3年生】記述模試(国公立大学二次試験、私立大一般入試を想定)やマーク模試(センター試験を想定)の結果および志望校の受験教科から、残り1ヶ月で強化する教科・科目をしっかりと確認する。国公立大学志望者については、将来の目標や大学の研究内容などをもとに受験候補大学を幅広く考え、センター試験後の出願校決定につなげたい。

【2年生】11月の模試から理科・地歴公民が加わり、今後5教科総合の力が必要となる。2年3学期は、苦手科目克服に向けて、重点的に学習する教科を決めて、取り組みたい。また、センター試験まで約1年。受験生としての意識を高めるため、改めて進学する目的(志望理由)を明確にさせる。

【1年生】夏の模試と比較して、特に英語の成績が向上しているが、全体的にはまだまだ学習量が不足している。3学期は目標(志望校)と現状(模試成績等)の差を確認し、苦手教科克服を目標とした学習計画を立案させる。そのためにも、フォーサイトを利用した日々の振り返りを継続させる。

主な部活動実績等

剣道部

平成30年度長崎県高等学校新人体育大会

男子団体 第3位
男子個人 第3位 齋藤 瑞貴
女子団体 優勝
女子個人 優勝 岩本 瑚々
第3位 山口菜々実

文部科学大臣杯授与第8回高山市長旗争奪全国高等学校選抜剣道大会

男子団体 第3位
女子団体 優勝(3連覇)

弓道部

第36回全国高等学校弓道選抜長崎県予選会

男子団体 第3位

体操部

平成30年度長崎県高等学校新人体育大会

男子団体総合 第2位
女子団体総合 第3位

レスリング部

平成30年度長崎県高等学校新人体育大会

団体戦 優勝
個人戦 51kg級 優勝 喜多 瞭太郎
55kg級 優勝 落水 健太
60kg級 優勝 内野 浩聖
65kg級 優勝 森崎 悠太郎
71kg級 優勝 濱崎 湧太
80kg級 優勝 喜多 涼真
92kg級 優勝 喜多 康介
女子62kg級 優勝 吉武まひろ

水泳

第28回長崎県高等学校室内水泳競技大会

女子50mバタフライ 第3位 中川 咲希
女子100mバタフライ 第3位 中川 咲希

バスケットボール部

平成30年度中地区バスケットボール新人大会

女子の部 第3位

1月の主な行事予定

- | | |
|-------------------------|---------------------------------------|
| 4日(金) センタープレテスト(3年~5日) | 19日(土) 進研実力テスト(1・2年)
※2年のみ~20日 |
| 6日(日) 冬季補習(全学年~7日) | 21日(月) センター試験自己採点(3年)
早朝補習中断(~3/3) |
| 8日(火) 始業式・校内実力(1・2年~9日) | 22日(火) 特別編成授業開始(3年) |
| 10日(木) 早朝補習再開(全学年) | 24日(木) 午後:短縮40分授業 |
| 12日(土) 土曜講座 | 29日(火) まゆやまロード健脚大会
※PTA炊き出し |
| 17日(木) 地学講座研究発表(理数科1年) | |
| 18日(金) 大学入試センター試験出陣式 | |
| 19日(土) 大学入試センター試験(~20日) | |

2年生修学旅行

第2学年 池田祐三子



2年生の修学旅行は、12月4日(火)～7日(金)の3泊4日で東京を訪れました。国会議事堂、皇居、豊洲市場の見学、劇団四季のミュージカル『アラジン』の鑑賞、企業研修や留学生とのグローバル研修と、様々な研修を、東京を満喫しながら主体的に積むことができました。いつもと違う環境に生徒たちも大いに感性を刺激された4日間で貴重な経験を積むことができましたと思います。保護者の皆様をはじめ修学旅行に関わって下さった皆様に感謝申し上げます。

今後、いよいよ受験の年を迎えます。この修学旅行の経験を活かして、進路実現に向けて積極的に活動して欲しいと思います。



グローバル研修



慶應義塾大学訪問



皇居での記念撮影



国会議事堂見学



豊洲市場にて



ホテルでの食事の様子



企業研修

【生徒感想】

○修学旅行で訪れた場所では、新しいことを学んだり、感動したり、多くの経験をすることができました。普段とは全く違う大都会に一步出ただけで自分が何もできないことに気づきました。将来、大学や就職いろいろな道に進む中で今回の経験は必ず役に立つものだと思います。だからこそ、ただ東京に行っただけでなく意味のあった修学旅行としてこれからの高校生活に活かしていきたいです。

○今回の東京への修学旅行では高層ビルの高さ、日本一の劇団の圧倒的迫力などへの驚きとともに多くの事を学びました。特に企業研修が今までの自分の考えが変わるくらい記憶に残るものとなりました。僕は慶応大学の湘南藤沢キャンパスに行ったのですが、そこで梅嶋准教授が大学は自分でテーマを見つけ自分で研究するところだとおっしゃり、無限にあるテーマから自由に選べることは“恐怖”だと何度も繰り返されました。その時、僕は与えられたことをやるだけの今の生活にもっと真剣にとり組もうと思いました。

一年生東京研修旅行

一学年主任 小森 貴

12月8日(土)9日(日)の2日間、1年生5名で東京研修旅行に行きました。

1日目は慶應義塾大学・東京藝術大学・東京大学・東京理科大学の訪問・散策しました。東京大学では、東大生が案内してくれるキャンパスツアーに参加し、ユーモア溢れる説明を聞きながら東京大学内の名所を回り、参加した生徒は憧れを抱くとともに刺激を受けたようでした。夜は、島高卒の現役東大生である本村君・勝井君を交えて懇談会を開きました。学力を伸ばすための具体的な学習方法、モチベーションの保ち方、大学での研究内容、学ぶことの意味など、様々な話題について語り合い、3時間があっという間に過ぎました。

2日目は、文系生徒は一橋大学・東京外国語大学・早稲田大学・上智大学を、理系生徒は北里大学・東京農業大学・東京工業大学を回りました。今年の研修では、電車を乗り継ぎながら時間の許す限り多くの大学を巡りました。大学ごとにキャンパスの雰囲気は異なるものの、大都会の喧騒の中にありながら、そこだけ別世界のような広いキャンパスと歴史ある空間を肌で感じ、生徒たちは大学生活への憧れを強くしたようです。

関東島高同窓会会長の勝又様には2日間ともご同行いただきました。おかげさまで、慣れない東京の地でも安心して研修を行うことができ、大変感謝しております



東大赤門の前で



東大安田講堂の前で

「歳末助け合い募金運動」ご協力ありがとうございました!

12月10日(月)～14日(金)に実施された「歳末たすけあい募金運動」の一環として、10日にエレナ島原店・ウィルビー前で街頭募金活動を行いました。雨のため例年より1日少ない活動でしたが、多くの方のご協力いただきました。

集まった募金は校内での募金と合わせて、赤い羽根募金および共同募金会に寄付致します。昨年に続き自然災害が多い年でしたが、たくさんの募金をお寄せいただきありがとうございました。

生徒会指導部



集計結果(街頭+校内)… 116,537円



★「マラソン大会」炊き出し協力をお願い

教務部 荒木 良太

1月29日(火)に行われる「まゆやまロード健脚大会」にあわせて、今年度もPTAによる炊き出しを実施することになりました。詳細につきましては、案内プリントを配付いたしますので、そちらでご確認ください。多くの保護者の皆様の参加をお待ちしております。

